

ETCカードについて

必ず、有料道路走行前にETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。  
(ETCカードが挿入されていないと、料金所にてETC車両と認識されません。)

**注意**



**入口と出口では、必ず同じETCカードを使用する**

入口と出口で異なるETCカードを使うと、料金が正しく処理されません。



**ETC車線直前や通過途中に、ETCカードを挿入しない**

カード確認には時間が必要なため、開閉バーが開きません。

禁止



**有効期限を経過しているETCカードおよび発行元が無効としたETCカードは使用しない**

「ETCが利用可能です」と音声案内されますが、料金所で開閉バーは開きません。  
(ETC車載器では、ETCカードの有効期限および無効情報は認識できません。)

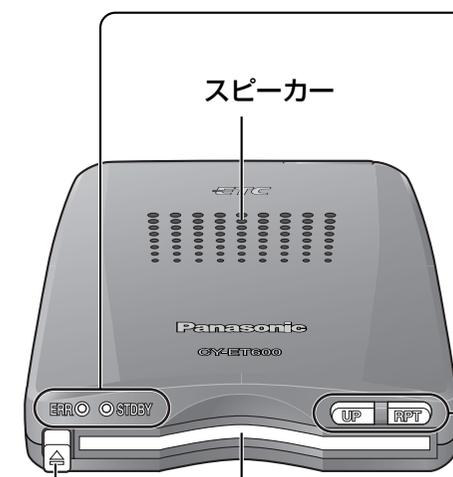
禁止

**お願い**

ETCカードは精密な電子部品（LSIチップ）を搭載しています。取り扱いによっては使用できなくなることがあります。

- ETCカードを曲げたり強い力を加えないでください。  
LSIチップが割れたり、配線が切れたりして使用できなくなります。
  - ・ズボンのポケットなどの曲がりやすい所で携帯しない。
  - ・小銭などの固いものと一緒に携帯しない。
  - ・分解・改造はしない。
  - ・車載器に無理に押し込んだり、引っ張ったりしない。
- ETCカードに静電気は禁物です。  
静電気によってLSIチップの回路が破壊されて使用できなくなります。
  - ・カードのコンタクト面に手や物を触れない。
  - ・テレビなど帯電しやすい物の上に置かない。
- ETCカードに熱は禁物です。  
ETCカードの本体はプラスチックでできています。  
高温下の車内などではカードが変形し、使用できなくなります。
  - ・車の中に保管しない。(特にダッシュボード上、および車載器への放置)
  - ・ストーブなどの近くに保管しない。
- ETCカードをぬらさない。(飲食物などで汚れた場合は、柔らかい布で拭き取ってください。)
- ETCカードの紛失、破損および変形した場合は、直ちにその旨をETCカードの発行元に連絡してください。

■ 本機前面



スピーカー

- スタンバイインジケータ(緑色)**(※18ページ)
- ETCカードが挿入され、装置が利用可能状態になったとき点灯します。
  - ETCカードが挿入されていないときは、電源が入っても点灯しません。
  - 利用履歴モードのとき、点滅します。

- エラーインジケータ(赤色)**(※18ページ)
- エラー発生時に点灯または点滅します。

ETCカード挿入口(※12ページ)

- コンタクト面を上にして、ETCカードを挿入し、ロックするまで押し込みます。

**UPボタン(音量)**(※14、15ページ)

- 音量(4段階:レベル1~4)を選択します。
- 利用履歴モードでは、古い利用履歴から新しい利用履歴へ1件ずつ順番に日付と料金を音声出力します。

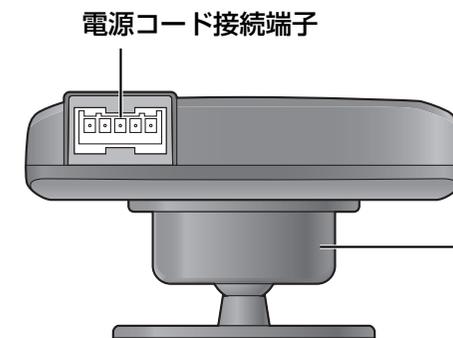
**RPTボタン(音声再生)**(※14、15ページ)

- 直前に出力した音声案内・案内音を再度出力します。
- 利用履歴モードでは、新しい利用履歴から古い利用履歴へ1件ずつ順番に日付と料金を音声出力します。

**EJECTボタン**(※13ページ)

- 押すと、ETCカードが取り出せます。

■ 本機後面



電源コード接続端子

スタンド